平成14年12月期 個別中間財務諸表の概要

平成14年8月6日

上 場 会 社 名 株式会社 大塚商会

上場取引所 東証第一部本社所在都道府県 東京都

コード番号 4768

コート台方 4 / 0 8 (URL http://www.otsuka-shokai.co.jp)

問合せ先 責任者役職名 専務取締役管理本部長

氏 名 原田 要市

TEL (03) 3264 - 7111

中間決算取締役会開催日 平成14年8月6日

中間配当制度の有無 有

中間配当支払開始日

平成 -年 -月 -日

単元株制度採用の有無 有(1単元 100株)

1.14年6月中間期の業績(平成14年1月1日~ 平成14年6月30日)

(1)経営成績

(注)金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売 上	高	営 業 利	」益	経常利	益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
14年 6月中間期	157,237	△ 5.2	5,569	△ 11.8	5,623	△ 10.3
13年 6月中間期	165,792	△ 1.7	6,317	55.2	6,271	45.5
13年12月期	303,657		7,572		7,482	

	中間(当期)	純利益	1 株 当 た (当 期)糾	り中間 ! 利益	
	百万円	%		円	銭
14年 6月中間期	2,371	△ 13.6	74.89		
13年 6月中間期	2,744	0.5	86.66		
13年12月期	2,495	△ 20.0	78.80		

(注)①期中平均株式数 (14年6月中間期及び13年12月期は自己株式控除後のものであります。)

14年 6月中間期 31,666,972株 13年 6月中間期 31,667,020株 13年12月期 31,667,010株

②会計処理の方法の変更 無

③売上高、営業利益、経常利益、中間(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年中間期増減率

(2)配当状況

	1株当たり 中間配当金	1株当たり 年間配当金
	円 銭	円 銭
14年 6月中間期	_	_
13年 6月中間期	_	_
13年12月期	ı	25.00

(3)財政状態

	総 資 産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
14年 6月中間期	151,923	44,112	29.0	1,393.00
13年 6月中間期	178,097	55,413	31.1	1,749.87
13年12月期	139,833	42,552	30.4	1,343.73

(注)①期末発行済株式数 (14年6月中間期及び13年12月期は自己株式控除後のものであります。)

14年 6月中間期 31,666,940株 13年 6月中間期 31,667,020株 13年12月期 31,667,010株

②期末自己株式数 14年 6月中間期 80株 13年 6月中間期 10株 13年12月期 10株

2.14年12月期の業績予想(平成14年1月1日~ 平成14年12月31日)

		売 上 高	経 常 利 益	当 期 純	利 益	1株当たり ^年 期 末	F間配当金]
		百万	9 百万	5円	百万円	円 銭	円銭
通	期	304,000	7,800	2,784		20.00	20.00

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 87円 91銭

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

中間貸借対照表

(単位:百万円)

			U a	П	1 V +> 88 +49	公左中間地		±5 ₩1	_				#0	Dil	V + 1111 + 10	公左中間地		(単位:百万円)
		\	期、	別	当中間期 平成14年	前年中間期	増 減	前期			\	_	期	別		前年中間期	増 減	前期
科		目			6月30日現在	平成13年 6月30日現在	増減	平成13年 12月31日現在	4 1		ы				平成14年 6月30日現在	平成13年 6月30日現在	増減	平成13年 12月31日現在
17		Ħ			0月30日現在	0月30日先任		12月31日先任	什		目				0月30日現在	0月30日現在		12月31日光任
	(部)						(:		貴 の)				
流		動	資	産	77,815	87,561	<u>△ 9,745</u>	65,012	流	9	動	負	Į.	債	93,712	106,346	<u>△ 12,633</u>	82,592
	現	金力	支び1	頁 金	3,885	5,632	△ 1,747	3,769		支	払	. :	手	形	23,902	24,962	△ 1,060	19,574
	受	取	手	形	6,388	8,814	△ 2,426	2,524		買		掛		金	33,354	40,684	△ 7,329	26,002
	売		掛	金	44,747	45,951	△ 1,204	38,142		短	期	借	入	金	13,300	16,236	△ 2,936	20,900
	商			品	14,182	18,226	△ 4,043	11,802		1年内	内返済	予定县	長期借入	金	2,153	3,669	△ 1,516	2,341
	保	守	部	品	2,160	2,415	△ 255	2,333		1年	内償	還子	定社	債	2,100	1,400	700	1,100
	仕		掛	品	349	337	12	338		未		払		金	7,013	7,621	△ 607	3,206
	貯		蔵	品	163	156	7	152		未	払き	去 人	、税	等	2,425	2,497	△ 72	1,392
	繰	延利	总金鱼	資 産	491	458	32	482		未	払う	肖費	税	等	682	650	32	920
	未	収	入	金	3,559	4,227	△ 668	3,742		未	払		費	用	1,831	1,846	△ 14	1,737
	そ		の	他	2,191	1,687	503	2,029		前		受		金	2,719	2,540	178	2,421
	貸	倒	引 当	金	△ 302	△ 347	44	△ 306		預		ŋ		金	2,570	2,524	46	1,424
										賞	与	引	当	金	1,507	1,505	2	1,395
										そ		の		他	151	206	△ 54	176
固		定	資	産	74,107	90,536	△ 16,428	74,821	固	,	定	負		債	14,098	16,338	<u>△ 2,239</u>	14,689
	有	形	国定	資 産	39,117	61,843	△ 22,726	40,033		社				債	4,300	6,400	△ 2,100	5,300
	建			物	27,100	28,610	△ 1,510	27,872		長	期	借	入	金	3,161	4,482	△ 1,321	3,727
	構		築	物	615	666	△ 50	643		退」	職 給	付	引当	金	5,865	3,776	2,089	4,555
	車	両	運頻	吳 具	175	163	11	177		役員	退職	識慰労	的引当	金	669	684	△ 14	703
	器	具	備	品	2,419	2,698	△ 279	2,575		繰	延利	兑 金	負	債	-	900	△ 900	308
	土			地	7,706	28,655	△ 20,949	7,706		そ		Ø		他	102	95	7	95
	建	設	仮 甚	力定	1,101	1,049	51	1,056										
	無	形	国 定 3	資 産	7,845	7,594	<u>251</u>	<u>7,507</u>	_1	<u> </u>	債	É	}	計	107,811	122,684	△ 14,873	97,281
	営		業	権	70	45	25	87		(:	資 2	本 0.	の部)				
	ソ	フト	・ウニ	c ア	7,444	7,212	231	7,085	資		本	z		金	10,374	10,374	-	10,374
	電	話	加入	、権	273	273	_	273	資	本	乗	ij	余	金	16,254	16,254	-	16,254
	温	泉	利用	権	57	62	△ 5	60	ě	資 オ	本	準	備	金	16,254	16,254	-	16,254
	投	資そ	の他の	資産	27,144	21,098	<u>6,046</u>	<u>27,280</u>	利	益	乗	ij	余	金	29,079	27,749	1,330	27,499
	投	資 7	1 価 1	正券	4,514	5,387	△ 872	4,692	利	制 ả	益	準	備	金	2,593	2,593	-	2,593
	子	会	社 棋	式	4,555	4,358	197	4,398	f	壬 蒼	意 ;	積	立	金	23,863	21,802	2,061	21,802
	長	期	貸付	金	1,193	1,520	△ 327	1,269		プロ	ュグ:	ラム	準備	金	2,498	2,236	261	2,236
	差	入	保 証	金	7,319	8,150	△ 831	7,234		固定	三資 産	 E 圧 斜	宿積 立	金	15	15	-	15
	長	期前	有払	費 用	27	36	△ 8	30		別	途	積	立	金	21,350	19,550	1,800	19,550
	繰	延利	总金鱼	資 産	277	-	277	-	E	中間(当期)未处	1.分利	益	2,622	3,352	△ 730	3,103
	再評	価に係	る繰延税	金資産	8,822	-	8,822	8,822	±.	地再	評	価差	差 額	金	△ 12,134	-	△ 12,134	△ 12,134
	そ		の	他	1,123	2,131	△ 1,008	1,436	その	他有	価証	券評 [。]	価差額	金	536	1,034	△ 497	556
	貸	倒	引当	金	△ 689	△486	△ 202	△603	自	i	2	株	ŧ	式	△0	-	△0	△0
									š	資	本	É	}	計	44,112	55,413	△ 11,300	42,552
ğ	¥	産	合	計	151,923	178,097	△ 26,174	139,833	1	負債	及び	肾	本合	計	151,923	178,097	△ 26,174	139,833

中間損益計算書

(単位:百万円)

	T							:百万円)
期別	当中間期		前年中間期		136 3.1		前 期	
科目	(自 平成14年 1月 至 平成14年 6月		(自 平成13年 1) 至 平成13年 6)		増減		自 平成13年 1 至 平成13年12	月 1日]
71 H	金額	百分比	金額	百分比	金 額	増減率	金額	百分比
		%		%		%		%
売 上 高	157,237	100.0	165,792	100.0	△ 8,554	\triangle 5.2	303,657	100.0
売 上 原 価	120,432	76.6	128,406	77.5	△ 7,973	△ 6.2	233,264	76.8
売 上 総 利 益	36,804	23.4	37,385	22.5	△ 580	\triangle 1.6	70,393	23.2
販売費及び一般管理費	31,235	19.9	31,068	18.7	167	0.5	62,821	20.7
営 業 利 益	5,569	3.5	6,317	3.8	△ 747	△ 11.8	7,572	2.5
営業外収益								
受 取 利 息	35		52		△ 16		94	
受 取 配 当 金	44		22		21		25	
家 賃 収 入	175		184		△ 9		357	
そ の 他	72		83		△ 10		151	
営業 外収益合計	327	0.2	343	0.2	△ 15	\triangle 4.4	629	0.2
営業 外費 用								
支 払 利 息	184		269		△ 84		502	
社 債 利 息	79		89		△ 9		182	
社 債 発 行 費 償 却	_		22		△ 22		22	
そ の 他	9		7		2		12	
営業 外費 用合計	273	0.2	388	0.2	△ 115	△ 29.6	719	0.2
経 常 利 益	5,623	3.5	6,271	3.8	△ 648	△ 10.3	7,482	2.5
特別 利益								
投資有価証券売却益	31		_		31		_	
特別利益合計	31	0.0	-	_	31	_	-	-
特別損失								
固定資産売却損	_		4		△ 4		4	
固定資産除却損	202		256		△ 54		381	
投資有価証券売却損	49		-		49		-	
投資有価証券評価損	157		97		60		294	
会員権売却損	_		7		△ 7		37	
会員権評価損	-		3		△ 3		35	
関係会社清算損 会計基準変更時差異償却	57		1.005		57		9.051	
特別損失合計	1,025 1,493	0.9	1,025 1,395		97	7.0	2,051 2,806	1.0
税引前中間(当期)純利益	4,162	2.6	4,876		△ 714	△ 14.6	4,676	1.5
法人税、住民税及び事業税	2,371						2,724	0.9
法 人 税 等 調 整 額	2,371 △ 580	1.5 $\triangle 0.4$	$2,407$ $\triangle 275$	1.4 $\triangle 0.2$	\triangle 36 \triangle 305	$\triangle 1.5$ 111.0	2,724 △ 543	0.9 △ 0.2
中間(当期)純利益	2,371	1.5	2,744		△ 305 △ 372	△ 13.6	2,495	0.8
前期繰越利益	2,371	1.0	608		△ 372 △ 357	△ 15.0	2,493	0.0
中間(当期)未処分利益	2,622		3,352		△ 730		3,103	

中間財務諸表作成の基本となる重要な事項

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券

子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法

その他有価証券 時価のあるもの

中間決算日の市場価格等に基づく時価法

(評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法

により算定)

時価のないもの

移動平均法による原価法

(2)デリバティブ

時価法

(3) たな卸資産

移動平均法による原価法

仕掛品 貯蔵品

個別法による原価法 最終仕入原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

商品•保守部品

(1) 有形固定資産

定率法

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)につい

ては定額法を採用しております。

なお耐用年数及び残存価格については、法人税法に規定する方法と

同一の基準によっております。

(2)無形固定資産

市場販売目的のソフトウェア

予想販売数量に基づき、当中間会計期間の販売数量に対応する金額 を償却しております。ただし、毎期の償却額は残存有効期間(見込有効

期間3年)に基づく均等配分額を下回らないこととしております。

自社利用のソフトウェア

当社における利用可能期間(5年)に基づく定額法

営業権

均等償却法 定額法

その他の無形固定資産(3)長期前払費用

定額法

3. 引当金の計上基準

(1)貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権 については、個別に回収可能性を勘案し回収不能見込額を計上しております。

(2)賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、当中間期に負担すべき支給見込額を計上しております。

(3)退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間会計期末において発生していると認められる額を計上しております。

なお、会計基準変更時差異については、当中間会計期間において5年による按分額の6/12相当額を費用処理 しております。

数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数(12年)による定額法により按分した額を、それぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。

(4)役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく中間会計期末要支給額を計上しております。

4. 外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、中間決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

5. リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

6. ヘッジ会計の方法

(1)ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理によっております。

(2)ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段

金利スワップ

ヘッジ対象

借入金

(3)ヘッジ方針

金利リスクの低減並びに金融収支改善のため、対象債務の範囲内でヘッジを行っております。

(4)ヘッジの有効性評価の方法

ヘッジ開始時から有効性判定時点までの期間において、ヘッジ対象とヘッジ手段の相場変動の累計を 比較し、両者の変動額等を基礎にして判断しております。

7. 消費税等の処理方法

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

追加情報

〈中間貸借対照表の表示〉

- 1.中間財務諸表等規則の改正により、当中間会計期間より改正後の中間財務諸表等規則を早期適用しております。これに伴い、従来の「資本準備金」は「資本剰余金」、「利益準備金」及び「その他剰余金」は「利益剰余金」として表示しております。
- 2.中間財務諸表等規則の改正により、当中間会計期間より自己株式は資本に対する控除項目として、資本の部の末尾に記載しております。

注記事項

(中間貸借対照表関係)

当 中 間 期	前年中間期	前 期
(平成14年6月30日現在)	(平成13年6月30日現在)	(平成13年12月31日現在)
1 有形固定資産の減価償却累計額 36,067 百万円	1 有形固定資産の減価償却累計額 34,117 百万円	1 有形固定資産の減価償却累計額 35,253 百万円
2 担保資産及び担保付債務 担保に供している資産は、次のとおりであります。 建 6,025 百万円 土 地 2,834 定 期 預 金 11 計 8,870	2 担保資産及び担保付債務 担保に供している資産は、次のとおりであります。 建 物 9,143 百万円 土 地 11,696 定 期 預 金 11 計 20,850	2 担保資産及び担保付債務 担保に供している資産は、次のとおりであります。 建 物 6,114 百万円 土 地 2,834 定 期 預 金 11 計 8,960
担保付債務は、次のとおりであります。 支 払 手 形 ・ 買 掛 金 3,509 百万円 物 上 担 保 付 社 債 4,400 (1年内償還予定社債含む) 計 7,909	担保付債務は、次のとおりであります。 支 払 手 形 ・ 買 掛 金 3,504 百万円 (1年内返済予定長期借入金含む) 物 上 担 保 付 社 債 5,800 (1年内償還予定社債含む) 計 9,304	担保付債務は、次のとおりであります。 支 払 手 形 ・ 買 掛 金 3,125 百万円 物 上 担 保 付 社 債 4,400 (1年内償還予定社債含む) 計 7,525
3 保証債務 次の関係会社について、金融機関からの借入金に対し債務保 証を行っております。 株 + コス・コンヒ ' ュータ・システムス' 74 百万円 E M T Software, Inc. 25 (US\$ 214千) 計 99	3 保証債務 次の関係会社について、金融機関からの借入金に対し債務保証を行っております。 (株) ア ル フ ァ シ ス テ ム 176 百万円 (株) ナコス・コンピ 'ュータ・システムス' 92 E M T Software, Inc. 37 (US\$ 298+) 株 ソ フ ィ ッ ク ス 47 計 353	3 保証債務 次の関係会社について、金融機関からの借入金に対し債務保 証を行っております。 (株) ナコス・コンド "ュータ・システムス" 87 百万円 E M T Software, Inc. 32 (US\$ 244千) (株) ソ フ イ ツ ク ス 47 計 166
4 消費税等の取扱い 仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、流動負債 の「未払消費税等」に含めて表示しております。	4 消費税等の取扱い 同左	4
5 中間期末日満期手形 中間期末日満期日手形の会計処理については、当中間会計 期間の末日は金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行 われたものとして処理しております。当中間期末日満期手形は 次のとおりであります。 受 新	5 中間期末日満期手形 中間期末日満期日手形の会計処理については、当中間会計 期間の末日は金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行 われたものとして処理しております。当中間期末日満期手形は 次のとおりであります。 受取 手 形 2,427 百万円 支 払 手 形 2,843 百万円	5 期末日満期手形 期末日満期日手形の会計処理については、当期末日は金融 機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処 理しております。当期末日満期手形は次のとおりであります。 受取手 形 979 百万円 支 払 手 形 1,645 百万円
6	6	6 受取手形譲渡残高 当期末の受取手形残高は、手形信託契約に基づく債権の一 部譲渡によって、3,621百万円減少しております。

(中間損益計算書関係)

当中間期 (自平成14年1月1日) 至平成14年6月30日		(前年中間期 自平成13年1月1日 至平成13年6月30日			前 期 自 平成13年 1月 1日 至 平成13年12月31日	
	.243 百万円 .323 百万円	減価償却実施額	有形固定資産 無形固定資産	1,353 百万円 1,400 百万円	減価償却実施額	有形固定資産 無形固定資産	2,767 百万円 2,720 百万円

(リース取引関係)

当中間期 (自平成14年1月1日) 至平成14年6月30日 1.リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外の	前 年 中 間 期 (自 平成13年 1月 1日) 至 平成13年 6月30日) 1 . リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外の	前 期 【自 平成13年 1月 1日 至 平成13年12月31日 1 リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外の				
1. ケース物件の所有権が指土に参照すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 (1)リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び中間期末残高相当額	1. リース物中の所有権が信主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 (1)リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び中間期末残高相当額	1. ケースが日本の所名権が同士に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引 (1)リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額 及び期末残高相当額				
取得価額 減価償却 中間期末残高 相当額 相当額 相当額 相当額 相当額 百万円 百万円 百万円 器具備品 5,861 2,998	取得価額 減価償却 累計額 中間期末残高 相当額 相当額 百万円 百万円 百万円 器具備品 6,119 2,753 3,366	取得価額 相当額 用当額 用当額 日万円 日万円 日万円 日万円 日万円 日万円 日万円 日万円 3,182 ソフトウェア 101 25 76				
ソフトウェア 96 31 64 合計 5,957 2,894 3,063 (2)未経過リース料中間期末残高相当額 1 年 内 1,331 百万円 1 年 超 1,798 百万円	(2) 未経過リース料中間期末残高相当額 1 年 内 1,281 百万円 1 年 超 2,141 百万円	合計 6,589 3,329 3,259 (2)未経過リース料期末残高相当額 1 年 内 1,306 百万円				
1 年 超 1,798 百万円 合 計 3,129 百万円 (3) 支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額 支払リース料 減価償却費相当額 777 百万円 減価償却費相当額	1 年 超 2,141 百万円 合 計 3,423 百万円 (3) 支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額 支払リース料 減価償却費相当額 772 百万円 減価償却費相当額 722 百万円	1 年 超 2,016 百万円 合 計 3,323 百万円 (3) 支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額 支払リース料 減価償却費相当額 1,509 百万円 減価償却費相当額				
支払利息相当額 49 百万円 (4) 減価償却費相当額の算定方法 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法 によっております。	支払利息相当額 56 百万円 (4) 減価償却費相当額の算定方法 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法 によっております。	支払利息相当額 110 百万円 (4) 減価償却費相当額の算定方法 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法 によっております。				
(5) 利息相当額の算定方法 リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利 息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっております。	(5) 利息相当額の算定方法 リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利 息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっております。	(5) 利息相当額の算定方法 リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利 息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によ っております。				
2. オペレーティング・リース取引 未経過リース料 1 年 内 101 百万円 1 年 超 130 百万円 合 計 231 百万円	2. オペレーティング・リース取引 未経過リース料 1 年 内 59 百万円 1 年 超 183 百万円 合 計 242 百万円	2. オペレーティング・リース取引 未経過リース料 1 年 内 149 百万円 1 年 超 157 百万円 合 計 306 百万円				

(有価証券関係) 前中間会計期間、当中間会計期間及び前事業年度のいずれにおいても子会社株式及び関連会社株式で時価のあるものはありません。